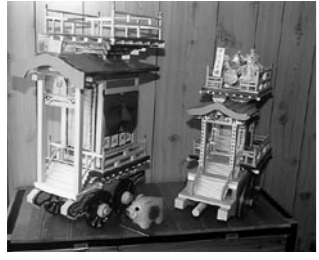


図面をたよりに
曳山の製作に熱
中する服部さん



完成した曳山の模型

甲南町深川にお住まいの服部健司さんは長年瓦屋として、水口町の徳川家康ゆかりの大徳寺（昭和56年11月の火災により再建）や甲南町杉谷の勢田寺客殿などの屋根の葺き替え工事などに携わっておられました。65歳の時、難病であるパーキンソン病を発病されました。しかし病と闘いながらリハビリを兼ねて手先の器用さを活かし、伝統の

難病と闘いながらの
曳山づくり
まちかど特派員
上西 定雄

水口祭りの曳山の模型を写真と簡単な図面をたよりにコツコツと地道に作り続けておられ、今までに3台の曳山を完成させ、現在4台目を製作中です。
その他にも知人の方に家紋入りの表札を造ったり、古木に名言を彫ったりされています。
こんな服部さんの1日も早い回復を願うとともに、今後の活躍に期待しています。

長寿もちづくり
コンテスト

こんな
もち料理は
いかが？

甲賀もちふる里館で2月21日（水）、長寿もちづくりコンテストが開催されました。

このコンテストは、さらなる新商品開発やもち料理の普及のきっかけにしようと（有）甲賀もち工房が初めて開催、地域の特産物である「滋賀羽二重糯」を使った料理やお菓子を募集したものです。

もちギョーザやもちあんロールケーキなど29点の応募があり、県内の菓子製造会社の社長らが審査、その結果、甲賀町の増山美佐江さんの「桜もち」が最優秀に選ばれました。

甲賀もち工房では、昨年12月に新しい加工場が完成し、特産加工にますます力が入っています。また、旧加工場を改装してできた直売・軽食コーナー「もちもちハウス」では、つきたてのもちが味わえることもあり遠く県外からも来店されるそうです。コンテストに応募された作品は、今後もちもちハウスのメニューに加えることも検討されています。



趣向を凝らしたもち料理の数々

自主防災組織と市が連携

甲賀市防災訓練

土山体育館周辺で3月4日（日）、土山地域を震源とした大地震が発生、甚大な被害が出ていると想定し防災訓練が行われました。あずま自主防災会や日赤奉仕団土山支部の皆さんなど地域の方が中心となって、災害に強いまち（ひと）づくりをめざし真剣に取り組みました。



消防団長へ指令を出す災害対策本部の中嶋市長



日赤奉仕団土山支部による炊き出し訓練



あずま自主防災会消火班による消火器を使用した初期消火訓練



消防団員による火災防御訓練



県防災ヘリコプターで負傷者を搬送する救助訓練



あずま自主防災会医療班による負傷者の応急救護訓練



生徒を前に作品への想いを語る久米修さん

昇降口に掲げられている寄贈された作品

創立
20周年
を記念して
城山中学校

城山中学校が創立20周年を迎えました。
昨年11月に行われた記念式典では、大津シンフォニックバンドによる記念演奏や城山中吹奏楽部との合同演奏、「映像で振り返る城山中学校の20年」、全校合唱など多彩なプログラムで祝いました。
また同時に地元で活躍する水口町在住の中村学さんの切り絵と同校第三代校長である久米修さんの絵画などの展示も行われ、地域の良さを見直す機会となりました。お二人からは、創立20周年を記念し同学校へ切り絵と絵画が寄贈されました。
3学期の始業式には、久米さんが作品に寄せる想いを生徒を前にお話しされ、中村さんからのメッセージも紹介されました。
寄贈された作品は久米さんの校舎や甲賀市を描いた「油絵とペン画」など3点と、中村さんの水口囃子をテーマとした「切り絵」8点です。
これらの作品は、生徒昇降口や階段に掲示されています。母校やふるさとのすばらしさを未永く生徒たちに語ってくださることを願います。